



高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業

連携自治体：高知県

協力機関：高知工科大学、高知工業高等専門学校、高知学園短期大学、放送大学高知学習センター



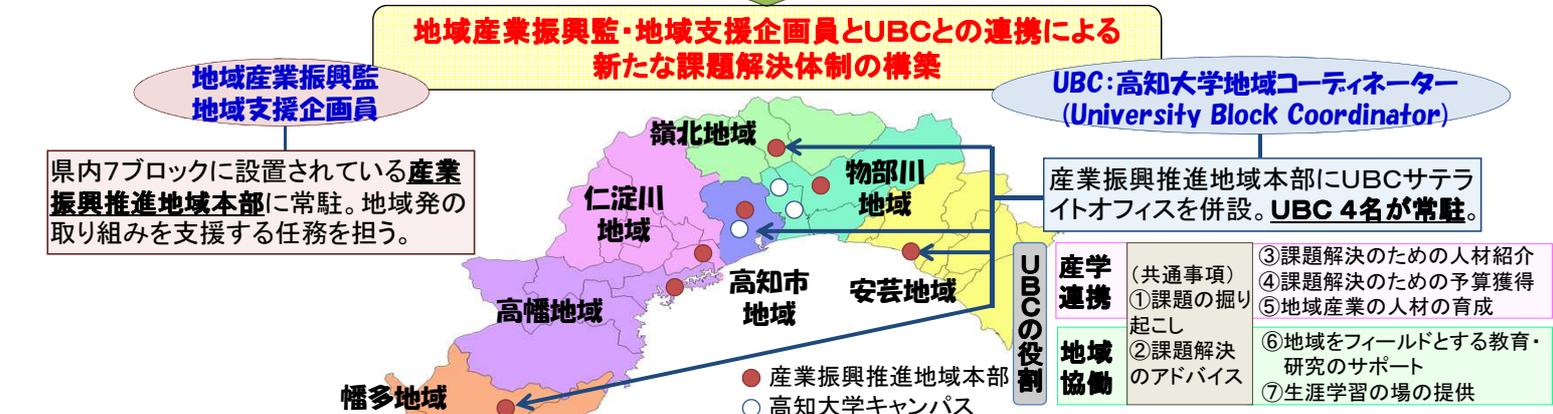
背景

高知県は我が国の社会問題を10年～15年先取りした「課題先進県」とされており、少子高齢化、中山間地域の暮らしの維持、産業の脆弱化、災害多発地域等、多くの課題が地域に山積している。しかし、高知大学をはじめとした高等教育機関のキャンパスは県中央部に集中しており、キャンパスから遠隔地にある地域の詳細なニーズ収集や、地域との密な情報交換に基づく連携活動を行うことが困難な状況にある。



事業概要

高知県の地勢の問題から全域的な大学と地域との連携が困難な状況を克服し、地域ニーズと大学シーズを効果的にマッチングする体制を構築する。高知県が設置する7か所の産業振興推進地域本部に大学教員(UBC)が常駐し、官学一体となって隈なく地域と向き合うことで、地域と大学との域学連携や産学連携活動を実践する。この体制を、**高知大学インサイド・コミュニティ・システム(Kochi University Inside Community System : KICS)**と呼称する。

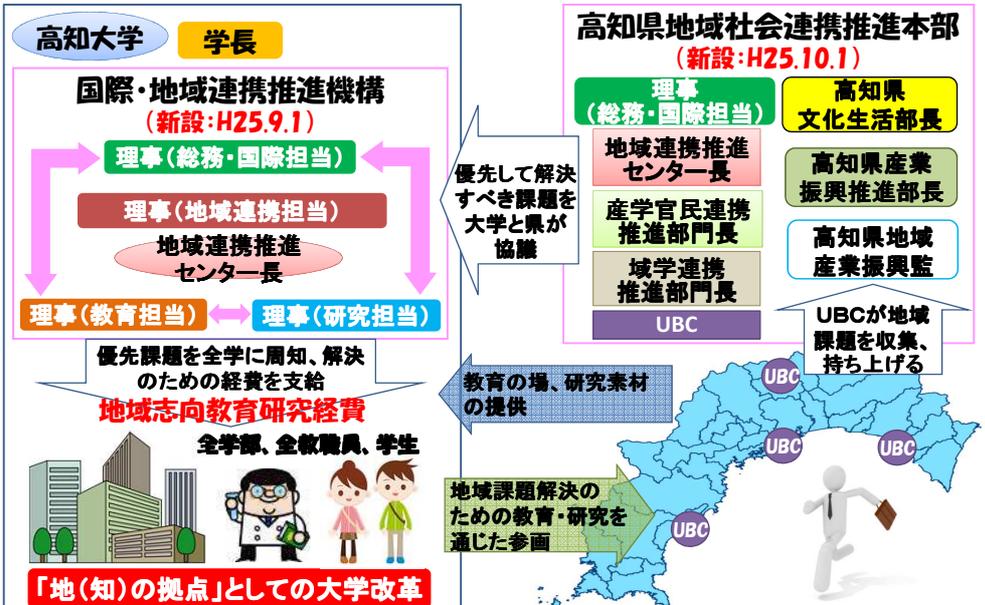


高齢化	全国より約10年先行する高齢化への対策	人生の「セカンドステージ」を充実する学びの場の構築
中山間地域	暮らしの維持、地域の文化の継承、コミュニティの再生	学生による実地研修、自発的な地域課題解決に向けた取り組み
産業の脆弱化	高知県産業振興計画の実行	産学官連携による計画の促進
災害多発地域	防災分野の「ものづくり」活性化ソフト対策の整備	企業の技術開発や官のソフト対策に対するシーズ提供

教育	地域課題解決に資する人材の育成	全学的なCOC教育の推進、地域をフィールドとした教育、地域協働学部の新設
研究	県内企業の研究開発への一層の貢献	地域志向教育研究経費を活用した企業の課題解決に資する研究の実施
社会貢献	地域再生に資する社会人教育、生涯学習の充実	地域の実情に合わせた教育プログラムの提供

大学ガバナンス改革

「高知県地域社会連携推進本部会議」にて高知県の重要課題を協議、「国際・地域連携推進機構」を介して学内に周知。地域志向教育研究経費を活用して解決を図る。



教育組織改革

